

文芸コーナー

春あらし去りしあしたの青空をそがひに負ひて花桃の咲く
咲き終へし桜の花片かたよりに寒き雨降る舗道に溜る
刈り込みし満天星萌え出づる若葉追ふごと白き花咲く
親を越えわが背に並ぶ孫娘みせたき妻はずに世になし
電車にて声をかけられはとす正札つきの靴を履きあし

俳句

車酔ひ癒す熊野の苔の花
かきつばた水音高く鯉跳ねて
バスを待つ児等の一列風薫る
さざ波の立てば植田の苗隠れ
利根の土堤嘯り今日も賑々し

短歌

春あらし去りしあしたの青空をそがひに負ひて花桃の咲く
咲き終へし桜の花片かたよりに寒き雨降る舗道に溜る
刈り込みし満天星萌え出づる若葉追ふごと白き花咲く
親を越えわが背に並ぶ孫娘みせたき妻はずに世になし
電車にて声をかけられはとす正札つきの靴を履きあし

加藤恵美子選

田口 三石選

<短歌・俳句をお寄せください>

一人一首または一句で未発表のもの。毎月20日締め切り(必着)です。投稿は、住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記の上、秘書広報課広報広聴班まで。

ほっとレポート



広報レポーター：吉川 映子(高花)

中央駅前地域交流館が開館
リニューアル記念行事を訪ねて

旧「中央駅前センター」が「中央駅前地域交流館」に生まれ変わり、去る4月22日にリニューアル記念行事が開催されました。今回の記念行事は、市ではなく、旧「中央駅前センター」を利用して各団体のみなさんが力を合わせて企画したイベント。また、一昨年の東日本大震災、昨年の改修工事で中止になっていた「中央駅前センターまつり」を復活させたイベントでもあります。わたしを含め、当館を利用している人たちにとっては、待ちに待った心弾む記念日です。



▲1号館全体が会場となった開催されたリニューアル記念行事。各サークルのみなさんによる数々の発表・展示作品が来場者を楽しませてくれました



当日、まずレクリエーションホールでは、開館を告げる元気の良い和太鼓の演奏が始まり、来館者の気分を盛り上げてくれました。一階のロビーでは、福祉作業所のお店が二店あり、美味しそうなパンやクッキーのほか、消臭や殺菌・防菌・防虫効果があるとされる竹酢液、和紙のはがき・色とりどりの小物などを販売。訪れたお客さんの目を誘います。1階の展示発表スペースでは、各サークルや高齢者クラブによる作品が、数多く展示されていました。種類も絵画、水墨画、七宝焼きなど盛りだくさん。いずれも優劣つけがたい力作ばかりで、感激しました。2階にも展示スペースが設けられ、書道、陶芸サークルの作品を展示。それぞれ練習の成果を存分に振るった、引き込まれる作品の数々に圧倒されました。

今回、会場となった1号館は明るく、受付カウンターも拡張され「話しやすい!」と感激。来館者が集って、お話ができるように、机の配置も考えられているようでした。来館者の話に耳を傾けていると「今回の記念行事は、例年のイベント(中央駅前センターまつり)に比べ、規模になって寂しいね」という話が聞かれました。今回の記念行事、実は開館に合わせて短期間で準備されたイベントなのだそう。もしかしら、今後充分な準備期間を設けて、かつての「中央駅前センターまつり」に劣らない規模での開催もあるかも知れません。そんな期待に胸を膨らませつつ、会場を後にしました。

施設がいと

市民活動支援センター

みなさんは「市民活動」という言葉を聞くと、どんなイメージを持ちますか。中には、サークル活動などと混同する人もいるかも知れません。実は「市民活動」とは、市民が互いに協力し、地域社会のさまざまな課題に向かって主体的、自主的に取り組む、営利を目的としない開かれた活動をいいます。そうした市民活動をサポートする施設が、今回ご紹介する「市民活動支援センター」(以下、センター)です。センターは、今年で立ち上げから10年の節目を迎えます。現在「中央駅前地域交流館」2号館2階(中央南1-4-1)に施設を移転。主にセンターに登録している市民活動団体への情報提供、活動に関する相談・支援、会議室・印刷機などの貸し出しを行っています(印刷機は有料)。



今回、センター指定管理者のNPO法人COSMO Sサポートクラブ理事長の藤澤進氏、センター長の山本晴美氏にお話を伺いました。お二人によると「移転前は、大森に施設がありました。4月に移転した後はさらに登録団体も増え、より活気が出てきました」とのこと。駅前という立地条件から、仕事帰りに所属する団体の会議に出席できるメリットもあるようです。ほかにも、センターでは各団体の活動のPRや情報交換を行う「だんごまつり」を運営したり、情報誌「だんご通信」の発行を行ったりと、情報発信も。藤澤氏は「来年の1月にはセンターのホームページを立ち上げる予定です。情報発信面も、より強化されるでしょう。また、構想の段階ですが、センターのサポート委員会を設け『地域に貢献したい』という人たちの力を借り、各市民活動団体を支援したいです」と今後の目標を語りました。今回興味を引かれたのは、



▲センターでは「だんごまつり」の運営(写真左)や情報誌の作成も

市民活動団体立ち上げの相談でした。センターでは、これから「市民活動団体を立ち上げたい」という人のために、相談業務も受け付けています(本紙2ページ参照)。藤澤氏自身も過去、団体の立ち上げに苦労したことがあり、そのときの経験を活かし、アドバイスをしているのだそう。お二人とも「お悩みの人は、まずは気軽にご来館ください」と語ってくださいました。市民活動支援センター(☎4500・FAX4510・i.shiencenter@minos.ocn.ne.jp)。

※開館日は、火・日曜日(月曜日、祝日、年末年始は休館。月曜日が祝日の場合は月・火曜日が連休)・午前9時~午後5時(水・土曜日で事前予約がある場合は午後9時まで)。

リサイクル情報広場

掲載情報は5月31日現在
☎クリーン推進課クリーン推進班(☎内線383)

- ◆ゆずりませ情報(有料の物は希望価格)
①小林中学生服、長袖とワイシャツ(ズボン200円、ワイシャツ300円)②巻き皮(牛革1千円)③チャイルドシート(2千円)④幼児用木馬(1千500円)⑤幼児用足こぎ四輪車⑥アルトサックス(7万円)⑦電子ピアノ(3万円)⑧千葉商科大付属高校制服⑨額縁⑩男子ランドセル⑪買い物カート⑫水盤。
◆さがしています情報
①シルバニアファミリーのおもちゃ②印西中女子用制服と運動着③しおん幼稚園男児・女児ジャージ、男児・女児体操服(大きめのサイズ)④天神幼稚園男児制服、女児制服、ブラウスなど⑤犬用乳母車⑥天神幼稚園制服⑦ベビーカー(A型もしくはAB型)⑧リカちゃん人形⑨補聴器。
※詳しくは市ホームページをご覧ください

毎月5日は「ノーレジ袋デー」です。お買い物にはマイバッグを持参しましょう。